



キクロスホームページ <http://www.library-kikuchi.jp>
キクロスフェイスブック <https://www.facebook.com/KiCROSS.LL/>

図書館

今月のおすすめ本

テーマ「ウサギ」



1 いちばんよくわかる! ウサギの飼い方・暮らし方

町田 修/監
飼いはもちろん、ウサギとのコミュニケーションを楽しめる「ウサトレ」も掲載。

3 もっと知りたい鳥獣戯画

土屋貴裕 ほか/監・著
ユーモラスなウサギやカエルが登場する大人気の絵巻。謎に包まれた作品をさまざまな角度から検証します。

2 かわいいうさぎ

直見身以子/作・絵
ウサギ愛が大爆発。すべてのウサギファンに読んでほしい絵本です。

4 いきもの写真館4 ゾウの鼻 ウサギの耳

小宮輝之/著・文
「鼻と耳」をテーマに、上野動物園の元園長が写真付きで楽しく解説します。

今月の図書館展示

絵本で知る世界の国々

国際図書館連盟(IFLA)の協力の下、各国の絵本を展示します。世界中の絵本を見てみませんか。

期間 1月14日(土)~29日(日) 午前9時~午後5時
※(月)休館

ところ 中央図書館展示室 **入場料** 無料

中央図書館 ☎0968(25)1111
泗水図書館 ☎0968(25)1115
七城図書館 ☎0968(25)1580
旭志図書館 ☎0968(25)3332

休館日
月曜日
※七城・旭志は日も休館

公民館

令和4年11月・12月に終了した講座の一部を紹介します

●キッズチャレンジクラブ2022 ～見て・聴いて・触れて 新たな菊池発見～ (6月~11月・全6回、中央公民館)

1年生から6年生の小学生が、菊池・七城・旭志・泗水の各地区に出向き、地域の特色を生かした活動を体験。菊池の魅力を新たに発見し、郷土に対する誇りと郷土愛を深める時間となりました。



●おうち時間を楽しもう 刺しゅう教室 ～初心者向け 刺しゅうでオリジナル小物～ (10月~11月・全4回、七城公民館)

和気あいあいと穏やかな雰囲気の中、クロスステッチやフランス刺しゅうを学びました。それぞれマイペースにコツコツ作製。糸の色や挿し方で、個性あふれる素敵な作品と笑顔が生まれました。



●近代史を紐解く～現代社会の構図が見えてくる～ (10月~11月・全4回、旭志公民館)

16世紀~20世紀初頭までの西欧史やオスマン帝国の近代化などについて学習。「高校生の時に習った世界史の記憶がよみがえり、大変勉強になりました」といった声が聞かれました。



●やる気脳を育てる快適老後術! ~人生の楽しみ方を学ぶ~ (11月~12月・全3回、泗水公民館)

認知症予防や良質睡眠でやる気脳を呼び覚ます方法などの話を聞き、講座は毎回盛り上がりました。具体的に気軽に実践できる内容に、「今後の生活の中で積極的に取り入れたい」と好評でした。



中央公民館 ☎0968(25)1672
泗水公民館 ☎0968(25)2028
七城公民館 ☎0968(25)1580
旭志公民館 ☎0968(25)3332



キクロスホームページ



万句の里俳句会 11月例会

うぶすなの杜鮮やかに冬紅葉
御浄土へ行きし夫恋ふ秋夕焼
大枯野いのち収めてゐる大地
笹鳴で賑はふ藪の生き返り
霜月や研ぎ澄まさるる朝稽古

加藤 妙子
川口 二子
光本とよいち
宮本 敏子
吉田 和弘

七城短歌会 11月詠草

稲穂垂る穀倉菊池目のあたり止むなし離農の哀愁が湧く
阿蘇に住む孫子ら突如の来訪に食事を誘う山鹿に向かう
夕暮れの竹林に白鷺とまる群れ楽譜に似たり曲名は何
機の窓に広がる山脈延々と国土に占むる七割の蒼
猪は落果の栗を食うと云う取られてならじその前に穫る

嶋田 晴美
緒方 寛子
井藤 和俊
渡辺 光夫
緒方 正俊

せせらぎ俳句会 11月例会

コンバイン停まれば止まる鷺の列
休日やパジャマで仕込むおでんかな
数多立つ案山子に父母の昭和見る
天高し健啖の孫頼もしき
小春日をすくえば零る齢の数

守田 惟誠
森 正子
坂崎ユキ子
青木ユリ子
藤本 邦治

「里」短歌会 11月詠草

夕日差す刈田に人の影ひとつ葉焼く煙ひくく流るる
ハンセン病にふるさと追われ別人として収容されたる患楓園跡
心根のわが亡母に似し娘と見ゆる久の泊まりに語りておれば
霜月に寄り合い作るコンニャクは記憶おぼろで反省多し
十年の過ぎゆく速さ見送りて習い始めのギターを弾けり

松本 和子
林 淑子
宮本 淑子
梶原美智代
江頭 桂子

旭志文芸教室俳句の会 9月詠草

一粒の粉作業着のポケットに
夕暮れの木犀の香や帰り来て
くるくると廻る扇や文化の日
瓜坊と知恵比べする栗拾い
デザートは大玉一つとんぼ柿

水谷 ミネ
芹川 蓉子
稗田 達恵
藤本けい子
中尾ヨシコ

溪流短歌会 11月詠草

日向ぼこ、うとうとすれば陽は西に駆け足になる晩秋日暮れ
久々の女子会の有りおしゃれして会話と食事うきうきとして
家族らの集ひし秋のこの夕を祝ひ賜ふか 山城の先祖
水替えをどこで見たてのジョウビタキ羽根震わせて水鉢のなか
戻らざる長き人生を偲ぶとき脳も胸も震へて止まむ

堤 よしみ
田中 遥子
山城 雅子
岩根 博恵
中川 愛子

菊池短歌会 12月詠草

「たたいま」と帰れば内から「たたいま」と君の声する旅から戻り
若き日の亡父の事など話おる 百歳超えた母は笑顔で
懐かしさに元気ですかと聞く我にあなたはたれとそ人は言う
生没年不詳の者とし偲ぶるその日想へばひとり笑まはゆ
生きるとは哀しきものよ身を攻めて汲めども尽きぬ思いの泉

安藤 則子
川口すみ子
小堀 久男
怒留湯健蓉
中川 愛子



撮影：広報(平成29年12月)

入会希望など詳しくは、
それぞれの句会や歌会
にお尋ねください。

万句の里俳句会 井芹 ☎090(1342)2151
せせらぎ俳句会 藤本 ☎0968(38)4087
旭志文芸教室俳句の会 中尾 ☎0968(37)2578

七城短歌会 佐々 ☎0968(24)3761
「里」短歌会/溪流短歌会 木原 ☎090(5284)2418
菊池短歌会 安藤 ☎0968(25)4285